

# 校門坂

～ 輝く薩摩中央 ～

平成31年2月8日（金） 南日本新聞

南日本新聞に、本校福祉科2年生の轟原公民館でのふれあいサロンについて掲載されたので紹介します。

## 薩摩中央高生が お年寄りと交流

さつま

さつま町の薩摩中央高校福祉科の2年生18人が4日、近くの轟原公民館を訪れ、ふれあいサロンのお年寄りと交流した。生徒が企画したゲームなどで親睦を深め、日頃の学習成果を披露した。

介護総合演習の授業で毎年行っており、60～80代の約30人が参

加。じゃんけんゲームや玉入れ、クイズなどのレクリエーションを楽しみ、一緒に体を動かした。孫世代の高校生の元気な姿に、参加者は笑顔。西村信子さん(左)は「こんな子たちにはいつか世話してもらえたら」と目を細めた。

竹井優介さん、指宿玲那さんは「声が小さかったり、ルールが一部分かりにくかったりと反省点もあったが、楽しくてあつという間に感じた。自分たちも元気になった」と話した。(本坊弓子)



じゃんけんゲームを楽しむ生徒と高齢者  
|| さつま町の轟原公民館